「第 39 回全国健康福祉祭東京大会 第 1 回運営専門部会」議事概要

１　日時

令和８（2026）年８月 24 日（月曜日）15 時 00 分～16 時 05 分

２　場所

東京都庁第一本庁舎　42 階北塔　特別会議室Ｄ（オンライン併用）

３　出席者

別紙「第一回運営専門部会　委員・出席者名簿」の通り

４　議題

検討事項① ねんりんピック Chōju 東京 2028 医事衛生基本方針（案）
検討事項② ねんりんピック Chōju 東京 2028 警備防災基本方針（案）
検討事項③ ねんりんピック Chōju 東京 2028 宿泊等基本方針（案）
検討事項④ ねんりんピック Chōju 東京 2028 輸送基本方針（案）

５　議事

事務局より、委員紹介の後、会議資料に基づき、大会概要、基本構想及び各議題等について説明。各基本方針について確認するとともに、意見交換を行った。委員からの主な意見は以下のとおり。

（１） 医療・救護について

○　過去大会では全会場に医師を配置してはおらず、東京でもそこまでの必要はないと考える。また、大規模イベントのように、そこまで大勢の方が一つの会場に集中するわけではないので、通常の医療提供体制での対応として、医療機関への周知や搬送体制の整備が主になると考える。

○　参加者が高齢者ということで、救急搬送されるケースを想定しておくことが必要。また何らかの事故等により、複数の傷病者が発生することも危惧される。そうしたことを見据え、連携体制を準備していくことが必要。

○　会場数が多く、多方面に分かれている。各会場に設置される救護室等の体制案などができたら、具体的に相談していきたい。

（２） 警備・防災について

○　各会場において、必要な自主警備をしっかりやっていただきたい。その過程で、区市町村の方々から地元の警察署等へ相談・協議をいただくなど、必要な連携をお願いしたい。

○　各競技において、路上を使用する案などが出てきた場合には、早めに情報をいただき、必要な対応を検討していきたい。

（３） 宿泊について

○　2028 年 11 月３日の文化の日が金曜日で、三連休になっている。そのため、どうしても宿の手配が難しくなったり、宿泊料金が高くなったりしてしまう。そうしたことを踏まえ、宿泊施設を早めに確保するなどの対応を行うことが重要。

○　大会の規模を踏まえると、相当程度の宿泊室数が必要になってくる。押さえに入るのはこれからだと思うが、少し懸念と考えている。

○　会場ごとに分宿するよりも、ハブ的なところをいくつか拠点化し、そこから移動していく方が効率的。そういったことも考えていってもらいたい。

（４） 輸送について

○　基本構想策定委員会の際にも、公共交通機関の利用について前向きに検討するようにとの助言をいただいている。できるだけ協力していきたい。

○　東京の交通網は便利であり、公共交通機関で行ける会場も多いのではないか。公共交通機関が使いにくい会場があれば、そこに行くのにバスやタクシーを使っていくのが良いと考える。

○　実際に輸送を行う鉄道各社へ、しっかりと情報共有を行うことが必要。

○　各事業者に過度の負担がかからないよう、配慮をお願いしたい。

○　貸切バスについては、大会の開催時期（秋）は、年間でも最も需要が高い時期であり、早めの確保が必要と考える。

（５） 観光について

○　参加者の方が予定を立てやすいよう、なるべく早い段階で、観光ツアーのプログラムを考え、お知らせしていくことが必要。

○　イベントを契機に、周辺の観光や食文化等を活用した観光振興ができると良い。東京の場合は区部・多摩部・島しょ部でそれぞれ魅力も違うので、参加者が一体的に情報収集できるよう、発信方法を工夫していただきたい。

（６） 弁当について

○　食品衛生の観点では、地域の保健所等、行政当局としっかり連携していくことが重要。会場における弁当の取り置き制限や保管方法なども、これから一緒に検討していきたい。

これらの意見に対し事務局から、検討を行った上で、大会準備に反映させていくことが確認された。

以上